



さざん くるす

KINAN HOSPITAL
OFFICIAL INFORMATION PAPER

September 1st.2020

vol.71



内科主任部長
中野 好夫

新型コロナウイルス感染症の今後

新型コロナウイルス感染症は、今のところ 終息の目途がついていません。

一般の風邪の原因となる他のコロナウイルスは冬季に流行のピークが見られ、夏季には少ないとされていますが、新型コロナウイルスも同様に季節性があるかは今のところわかっておらず、7月に入り東京を中心とした、各地域で再流行がみられ、今後の推移を注意深く見守る必要があります。

厚生労働省クラスター対策班の西浦博・北海道大学教授は4月15日の記者会見で、新型コロナウイルスの感染拡大で、人と人との接触を減らすなどの対策を全く取らない場合、国内では重篤患者が約85万人に上り、半数が亡くなる恐れがあるとの試算を公表し、その上で人と人との接触を8割減らせば、流行を抑え込めるとの見方を強調しています。

一部諸外国では、ロックダウン(都市封鎖)等の厳しい措置を行うことで感染拡大のピークが抑えられました。日本においても、4月7日に東京都、大阪府等の7都道府県に対し、緊急事態宣言(4月16日に全国に拡大)が出されてから新規感染者数は減少し、5月25日には全国で緊急事態宣言が解除されました。緊急事態宣言時には感染者数も減ってきましたが最近では緊急事態宣言前までに戻ってきています。しかしながら社会状況から再度の緊急事態宣言はでそうにありません。

5月1日に発表された新型コロナウイルス感染症対策専門家会議による「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」において、諸外国での中長期の見通しについての検討、今後の国内の見通しについて述べられています。

英国からの論文ではワクチンが入手可能になるまでの1年半以上、米国からの論文では集団免疫を獲得するまでの2022年までは、再流行が想定され、医療崩壊を防ぐために社会的距離政策(人と人との距離を確保すること)を断続的にでも継続していかなければいけない可能性を示しています。国内の今後の見通しについては、国内においても感染状況に応じた持続的な対策が必要になるとしています。感染の状況が厳しい地域では新たな感染者数が一定水準まで低減するまでは、医療崩壊を防ぐため、引き続き徹底した行動の変化(外出自粛等)が必要であり、一方、新たな感染者が限定的となった地域でも、再度感染が拡大する可能性があり、長丁場に備え、感染拡大を予防する「新しい生活様式」に移っていく必要があることを提案しています。

新型コロナウイルスは国内での流行が一旦は抑えられても、ワクチンの開発や有効な治療法の確立までは、何度でも再流行する可能性があります。

私たちは、今後、新型コロナウイルスとの共存の方法を模索していく必要があるのかもしれない。



外出控え



密集回避



密接回避



密閉回避



換気



咳エチケット



手洗い

研修医日記

紀南病院研修医2年目の矢倉達弥です。
医師になるまで随分回り道をした分、年齢は34歳と研修医としては高齢です。
今回このような筆を執る機会を頂けたことに感謝し、自己紹介を致します。



研修医
矢倉 達弥

私は田辺市出身で、生まれたのはまさに紀南病院です。田辺第三小学校、明洋中学校、田辺高校と地元の学校に通い、高校時代はラグビー部に所属して日々楯円球を追いかけていました。高校卒業後は大阪教育大学教育学部へと進学しました。大学時代はアメリカンフットボール部に所属し、サイズは少し小さくなったもののまたまた楯円球を追いかけていました。

大学では中高の理科教員免許を取得し、卒業後は智辯和歌山に理科教師(主に生物)として就職しました。6年間教鞭を執った後は、医学について学びたいと思い福井大学医学部に学士編入学しました。入学時点で28歳。一般的な28歳と言うと、仕事に結婚に育児に人生の大切なステージを迎えている頃ですが、自分は二度目の大学生活を送ることになりました。周りの学生は10歳近く年下、中には教師時代の教え子などもいました。いざ大学生活が始まるとすぐに馴染むことができ、講義を受けたり、たまにサボったり、サークルに行ったり、飲み会をしたり、バイトをしたり、旅行をしたり、髪を染めたり、恋をしたり…(笑)と、ごく普通の大学生としての生活を送ることができたと思います。

医学部の勉強は大変でしたが無事に進級、卒業試験や国家試験にも合格し、自分が生まれたこの病院に研修医として戻ってこられたことに大きな喜びを感じています。仕事では指導医の先生方、看護師さん、多くのコメディカルの方々など、周囲の皆様日々たくさん迷惑をかけてしまっておりますが、見捨てずに指導して下さいととても感謝しています。皆様の支えのおかげで毎日がとても楽しく充実しています。早いもので研修医生活も終盤にさしかかろうとしておりますが、これからも御指導御鞭撻のほどよろしくお願い致します。



研修医 野村 知礼

初めまして、紀南病院初期研修2年目の野村知礼と申します。

田辺市に来て1年半がたとうとしていますが、自然に囲まれて生活していると何となく気持ちに余裕を持てるようになった気がしています。病院の方々にやさしく指導していただいている中で、日々有意義に過ごさせていただいています。

今回は研修医紹介ということで、サザンクロス紙面の一部をお借りすることとなりましたので、自己紹介をさせていただこうと思います。

生まれは山口県になります。とはいえ山口県にいたのは小学6年生までなので、思い出といえば、福岡県の塾に毎日のように通い、中学受験をしたことぐらいです。

中高一貫校で、高校入試がないこともあり、勉強は進級できる程度しかせず、もっぱら寮生活を満喫していました。寮の壁に穴をあけてしまうこともしばしばあり、寮監の先生と学校の中で追いかっこをしたことも多々あります。男子中学生、高校生が50人も集まれば、いろいろなことがおこるもので、夜に窓のほうを見たら火が付いた紙飛行機が飛んでいたり、メリーポピンズのように傘を持って寮の2階から飛び降りた友人もいました。男子校の学生は硬派で、紳士的なイメージであると、大学のころ友人から聞きましたが、しっかりと訂正しておきました。男子校の寮生として恥じない生活を送っていたためか、大学受験は大変苦労しましたが、なんとか医学部に入ることができました。

大学では空手道部と柔道部に所属し、部活動に忙しい毎日を過ごしておりました。コンタクトスポーツなので、怪我が多いのですが、特に指の怪我がつらく、手を握れないくらい腫れることもありました。つらいことも多いですが、思うように体が動いたり、試合で勝つのが楽しく、気付けば6年間空手を続けていました。空手以外には筋トレを趣味として行っていました。やりすぎはよくないとわかっていながらも、6年生になっても毎日のようにトレーニングをしていたら、国家試験を普通の人より一回多く受けることとなってしまいました。その時の自分は体を大きくすることにとりつかれていたように思います。同期の忠告を聞かずに筋トレしていたことを今でも後悔しています。その後国家試験に無事合格し、縁あって紀南病院で研修をすることとなり現在に至ります。

もう間もなく研修も終了しますが、少しでも多くのことを学び今後活かせたらと考えております。2021年3月まで紀南病院で研修しております。どうぞよろしくお願い致します。

医療の現場から

ICT（感染対策チーム）について

ICT:感染対策チームとは、インфекション・コントロール・チーム(Infection Control Team)の略称です。今回は、ICTの活動内容などをご紹介します。

もしかすると、初めて聞く方もいらっしゃるかもしれません。しかし、冷蔵庫の中を見たり、ゴミ箱の中身を見たり、泡ハイター開けっ放ししてないか見たり…etcと、毎週金曜日夕方に2~3人で色んな所をうろついている集団と言えばどうでしょうか?「金曜に見回りに来やる人らか。」「手指消毒しましょうって言いに来る人らやる。」と少しでも思い返していただければ幸いです。

ICTは、院内で起こる様々な感染症から患者・家族・職員を守るために活動する組織です。メンバーは医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・事務員と多職種で構成しています。ちなみに、毎週金曜日に色んな部署にお邪魔しているのは「環境ラウンド」といい、感染対策の実施状況を確認させていただいております。いつもお忙しい中対応していただきありがとうございます。この場をお借りして、お礼を申し上げます。

環境ラウンドの他にも、感染症サーベイランス・抗菌薬使用状況の確認など様々な業務を行っています。ただ、「見回り」をしている以外に実際どんな事をしているのかは、なかなかイメージしづらいかと思います。

そこで、ICTを『消防団』に例えてみます。消防団は、火事があればすぐに駆け付けて、消火活動を行い被害を最小限にします。そして、火事が起きないために、地域の見回りをしたり、防火教育や相談、啓発活動を行っているかと思えます。

では、ICTは何してるのかというと、感染症の発生状況を常に監視し、感染症が発生すれば部署へ行き必要な対策を考えて感染拡大を防ぎます。そして、感染症や感染拡大を防ぐために、院内の環境ラウンドを行い、感染対策の指導を行います。さらに、抗菌薬適正使用や微生物検査に関する相談に応じたり、研修会を開いて啓発活動を行っています。消防団→ICT、火事→感染症と置き換えると、少しイメージしていただけたでしょうか?

ただし、感染対策はICTだけで成り立つことはできません。たった一人の職員が対策を怠ってしまうとどうなるでしょうか。例えば、今話題のCOVID-19はその隙を見逃しません。誰にも気づかれず静かに病院内に忍び込み、あっという間に院内を占拠して、目も当てられない事態となります。この記事を作成した時点(8/7)では、COVID-19第2波は来ています。そのため、今季の秋冬はCOVID-19・インフルエンザ・ノロウイルスなどの感染症との戦いになるかと思えます。病院に訪れる患者・家族の安全を守るためにも、職員一同で感染対策を行うことが必要不可欠となります。今後も感染対策のご協力をよろしく願いいたします。お困りの際は、お気軽にICTにご相談下さい。



藍培ラウンド中



環境ラウンド中

《MRI撮影装置の更新について》

7月15日より作業員等の感染症拡大防止対策を協議しながらMRI更新工事を開始しました。工事・調整作業は8月末日で完了し、9月より撮影を開始いたします。

新しく導入された機種「Ingenia 1.5T」は最新の高速撮影技術である圧縮センシング技術を搭載し、撮影時間を大幅に短縮しながら高精細な画像を撮影する事が可能です。DWIBS法(全身拡散強調MRI)、造影剤を使用しない冠動脈撮影など今まで出来なかった検査にも対応できます。



撮影室内機器設置位置まで搬入



新機器クレーンで移動中

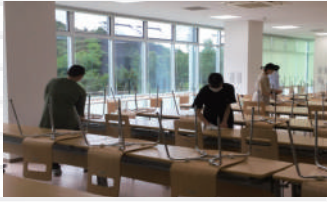
期間中は各医療機関の方々にご協力いただきありがとうございました。

病院のまど

市民健康講座はお休みさせて頂いております

毎朝、学内の掃除を行っています。新型コロナウイルス感染症予防対策のため、拭き掃除は、特に念入りに行います。

学校
便り



7月22日に、防災訓練を行いました。今年は、消火器、消火栓、避難器具を用いた避難の訓練を行いました。今回の訓練で行ったことを、いざというときに活用できるようにしたいと思います。



New face さ～ん

《医師》



《整形外科》
やまかわりょうへい
山川 量平



《血液内科》
よしだ きくあき
吉田 菊晃



《整形外科》
むらた しずまさ
村田 鎮優

地元に貢献するために
帰ってきました

編集後記

Gotoトラベルキャンペーンが始まり県外の移動が活発となりCOVID-19の感染が拡大するのでは？とヒヤヒヤしている今日ですが皆様いかがお過ごしでしょうか？連日感染人数のニュースが報道され観光地のテレビ中継を見るたび不安を感じずにはいられません。例年であれば祭りや花火大会などのイベントが夏の思い出の一つとなっておりますが、今年はソーシャルディスタンスを守った行動が求められており今までとは違った過ごし方を模索していかなければなりません。まだまだマスクが手放せない状況が続いている中、着用するのがツライ時期ではありますが、水分補給をしっかりと行って脱水や熱中症予防を行い残暑を乗り切りましょう！

K記

daikoku 株式会社 大黒

本社：〒640-8525 和歌山県和歌山市手平 3-8-43

和歌山事業所	〒641-0012 和歌山市紀三井寺 855-71
紀三井寺事業所	〒641-0014 和歌山市毛見 1111-1
トライアルフィールド ayumino	〒594-1157 和泉市あゆみ野 4-6-6
南大阪支店	〒594-1157 和泉市あゆみ野 4-6-6
大阪支店	〒577-0015 東大阪市長田 3-7-11
神戸支店	〒653-0042 神戸市長田区二葉町 1-1-22
奈良支店	〒630-8115 奈良市大宮町 6-3-13 大宮ヨシエビル
紀南支店	〒646-0011 田辺市新庄町 3778-2
阪神営業所	〒661-0981 尼崎市猪名寺 1-22-22
新宮営業所	〒647-0052 新宮市橋本 2-5-61
東京麹町オフィス	〒102-0083 千代田区麹町 3-5-2BUREX 麹町 301号
京都丸太町オフィス	〒606-8395 京都市左京区丸太町通川端東入丸太町 32-3 上田ビル 3F

DAIKOKU MEDICAL SUPPLY



SEIKO MEDICAL

医療の先へ。セイコーメディカル株式会社

医療・保健・福祉・介護の分野で、

「生命を守る人の環境づくり」を通じて

地域の発展に貢献することが

私達の使命です。



■本社
〒640-8287 和歌山県和歌山市築港6丁目9番地の10
TEL. 073-435-2333 FAX. 073-435-2223

■大阪支店
〒595-0012 泉大津市北豊中町2丁目5番28号
TEL. 0725-31-3610 FAX. 0725-31-3619

■医大前営業分室
〒641-0012 和歌山県紀三井寺768番地の13
TEL. 073-448-3787 FAX. 073-448-3781

■田辺営業所
〒646-0011 田辺市新庄町 2744番地
TEL. 0739-25-4535 FAX. 0739-25-4578

■新宮営業所
〒647-0072 新宮市峰伏 20番 22号
TEL. 0735-31-9130 FAX. 0735-31-9133

■奈良営業所
〒632-0082 天理市荒崎町 56番地の4
TEL. 0743-64-3607 FAX. 0743-64-4810